

# みんなかく

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されております。  
女性 (Female) と男性 (Male) が共に支えあい、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って!!  
第9号 企画課 男女共同参画室 (内線 2156)

**病気**

**私のからだ**

●女性の方がかかりやすい病気

- ・子宮や卵巣などの女性にしかない臓器の病気
- ・パセドウ病…男性の5~10倍
- ・認知症…男性の2倍
- ・白内障…男性の2倍
- ・重症性筋無力症…男性の1.5~2倍
- ・うつ病…男性の2倍 など

【リスク要因】  
女性ホルモン  
プロゲステロン  
エストロゲン  
月経など

**同じでいいの?**

【リスク要因】  
男性ホルモン  
テストステロン  
アンドロゲン  
など

**僕のカラダ**

●男性の方がかかりやすい病気

- ・前立腺や精巣などの男性にしかない臓器の病気
- ・腎臓・尿管結石…女性の2.5~3倍
- ・心筋梗塞…女性の4~5倍
- ・赤緑色覚異常…女性の20倍
- ・うつ病による自殺…女性の3倍 など

【リスク要因】  
男性ホルモン  
テストステロン  
アンドロゲン  
など

【リスク要因】  
X染色体

【リスク要因】  
Y染色体

【リスク要因】  
遺伝・劣性遺伝  
飲酒・喫煙・副流煙・排気ガス、  
様々なストレス  
など

※参考、出典  
・「性差の人間科学」山内兄人 著(コロナ社)  
・<http://tv.jissen.ac.jp/lecture/11.php> 講師：沢登 徹 (前 実践女子大学 生活文化学科 教授)

## 性差医療とは？

これまで女性と男性の身体は、生殖器以外はほとんど同じ構造で、働き方も大差はないと思われていました。

また、医療の場では女性は妊娠の可能性があるため、胎児への影響が予測できないこともあって、男性を被験者として集めた研究データを元に治療が行われてきました。

最近になって、診断や治療が男女同じでよいのかという検討がされるようになり、研究を進めた結果、実際には遺伝子やホルモンなどの作用により、病気によっては、かかりやすさに違いがあることがわかってきました。

「性差医療」とは、男女の生物学的差、それぞれ特有の疾患や病態などのほか、社会的な男女の違いと健康との関連などに関する研究を進め、その結果を総合的に反映させ、性差に配慮した診断や治療を目的とした医療のことです。

若い頃から性差に配慮した医療を受けることは、将来的にもきめ細かな生活習慣病の予防や、病気にならないための対策を講じることができます。



## 女性専用外来ってなあに…？



「受診したいけどはづかしい」「男性医師には話しにくい」など、はっきりしない症状で、どこの科を受診すればよいのか迷ったり、受診はしても原因がわからないまま放っておいたり、体調に不安を感じながらも先延ばしにしていたり…。

あなたにも思いあたることはありませんか。女性ホルモンの働きは小児期から思春期、そして更年期へとライフステージによって変化します。そのせいもあって、女性の心と体は大変デリケートで、些細なことがきっかけで体調を崩してしまうことがあります。女性特有の心と体の悩みを同性である女性医師が共感を持って聴き、女性の目線で治療にあたるのが女性専用外来です。

【※女性専用外来の考え方と同様に、全国でまだ極わずかですが男性のための男性専用外来も開設されています。】

### 女性専用外来のある病院

#### ●青森市民病院

〒030-0821 青森市勝田一丁目14-20(内科)  
TEL:017-734-2171(代表)

#### ●青森県立中央病院

〒030-8553 青森市東造道二丁目1-1(産婦人科) 毎週木曜日  
※要予約(平日14:00~16:30受付) TEL:017-726-8220

#### ●黒石市国民健康保険黒石病院

〒036-0541 黒石市北美町1-70(産婦人科)予約制  
毎週金曜午後3時よりTEL:0172-52-2121(代表)

#### ●国立病院機構弘前病院

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地(内科)  
第1、第3火曜日 ※要予約TEL:0172-32-4311(代表)

## お知らせ

青森県男女共同参画センターオープンカレッジin五所川原



元ギャル社長 藤田志穂さん

## 私の夢のかなえかた & 10のルール

★と き…平成22年2月21日(日) 13:30~15:30  
★ところ…ELMの街2階エルムホール(参加無料)

#### ◆講師プロフィール

1985年生まれ。ギャルのイメージを一新させる「ギャル革命」を掲げ、19歳で起業。「シホ有限会社G-Revo」を設立。ギャルの特性を活かした商品開発やプロモーションを行い、年商3億円企業に成長させた。2008年12月には社長を引退し、現在は食や農業の問題について活動中。若者が食や農業に興味を持つきっかけをつくるため「ノギャル」プロジェクトを立ち上げ、秋田県での「シブヤ米」作りや、ギャルママ野菜収穫ツアー、EDWINと「イケてる農作業着開発」など様々な角度からプロジェクトを展開中。

「シブヤ米・ライスボデイ」  
「赤〜いりんごワイン」  
が当たる!  
抽選会実施!

★当日、五所川原市農産物加工センター振興対策協議会、株式会社津軽シャングリラ、赤〜いりんご株式会社、自然菓子あるる、奈良農園、コミュニティカフェでる・そーれなどによる農産物加工品の販売あり!!(おからかりんとう、奴みそ、南蛮みそ、赤〜いりんごジュース、赤〜いりんごドレッシング、赤〜いりんごブッセ、紫黒米入りしとぎ餅など多数販売予定)

●主催: 青森県男女共同参画センター、五所川原市、青森県担い手育成総合支援協議会、青森県農業会議

●後援: 五所川原街づくり株式会社 ●協力: ごしょつがる農業協同組合 女性部  
【お問い合わせ・託児申込み先】

〒037-8686 五所川原市字岩木町12番地 五所川原市総務部企画課男女共同参画室

TEL:0173-35-2111(内2156) FAX:0173-35-3617 E-mail:danjo@goshogawara.net.pref.aomori.jp

★無料託児あり  
(1才半~就学前まで)  
2/18(木)まで  
※要予約



## 編集後記

★男性も女性も、気がねなく安心して受診できる病院増えること 望みます。(K) ★思いやり…お互いの違いを理解し、認めること。春はもうすぐ。(A)

●編集スタッフ/境谷 葉子・福士千恵子・三由 恵子・千葉 敦子・笹森知嘉子